

局区X方針全体の進捗状況について

令和8年5月26日 財政・変革局市政変革推進室

『局区X方針』の概要①

「これまで（現状）」から、何を変革する（トランスフォームする）のか
そのトランスフォームした姿（あるべき姿）を実現するために、
今年度の変革課題を明確にして、課題解決の取組みを定めたものが『X方針』

～各局区長等が、経営者目線で自律的な改革の方針を定めて組織内外に発信～

局区長による変革の推進力向上 や 局区の経営意識の向上を図る

局区長のリーダーシップの下、
変革の方針を作成・公開

〇〇局区X方針

- ・使命
- ・変革課題・目標
- ・R8取組み等



①自己点検

- ・局区長のリーダーシップの発揮
- ・新ビジョンを踏まえ、特に変革が必要な課題（変革課題）の洗いし
- ・幹部職員の参画

②変革課題・目標等の設定

- ・局区X方針の公表
- ・市民への丁寧な発信
- ・局区内職員との意識共有

課題解決に向けた
取組み

③X会議(進捗の公開)

- ・見直しが困難な課題を可視化
- ・データ等を用いて客観的に分析

『局区X方針』の概要②

X方針の課題領域（A・B・Cレベル）

課題領域 Cレベル	課題領域 Bレベル	課題領域 Aレベル
・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題	・課題の掘り起こしが済み、変革案が具体化しつつあるもの (途上のもの) ・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの	・行政サービス現場改善にかかる課題

◆「3分類の課題」との相関



部局の枠を超えないと、掘り下げべき課題の見定めや解決策が見出しにくい課題。組織横断的な検討や外部(民間等)の協力を必須とするもの。
【対応する課題領域】B/C

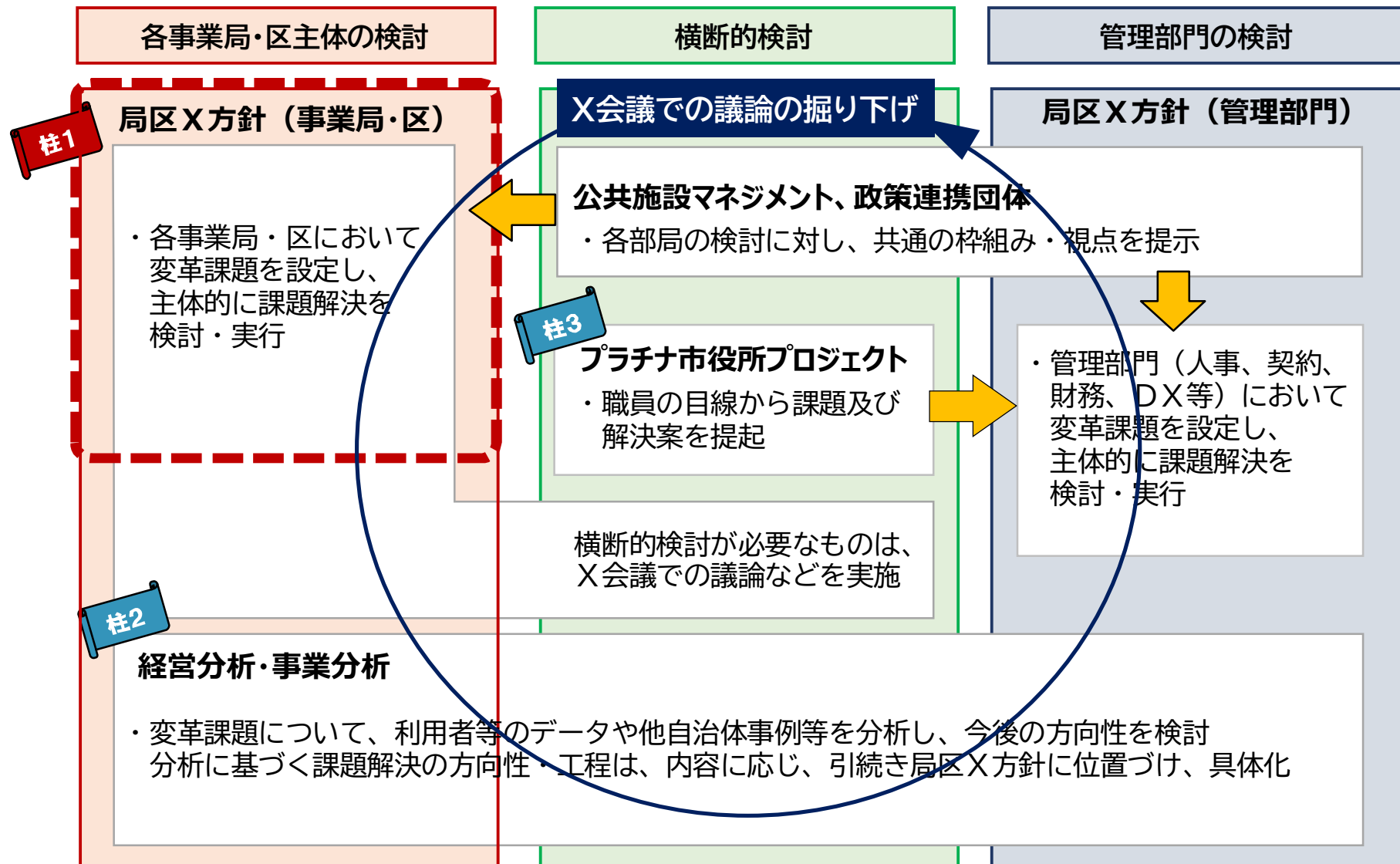
現状のやり方ではうまくいかない状態に対し、転換やトランスフォームを目指す課題。担当部局が主となって解いていくことが可能なもの。
【対応する課題領域】B/C

解決の方向性や具体的内容が決まっており、実行中(実行予定)にある課題。(例えば、予算要求段階も含む)または、既存プロセスを前提に日々の「やり切る」改善活動。
【対応する課題領域】A

👉 3分類のどの課題に該当するか仕分けることで、B・Cレベルとして設定すべき課題か、より明確になる

令和8年度市政変革全体における『局区X方針』の位置づけ

- ・局区X方針は、令和8年度の市政変革の主たる3つの取組み（3本柱）の1つ。
- ・昨年度の検討・議論を踏まえた本質的な変革課題の設定を重視・徹底。



局区X方針のアップデート

3年目のアップデート — 局区X方針を軸にした変革の戦略的マネジメントへ —

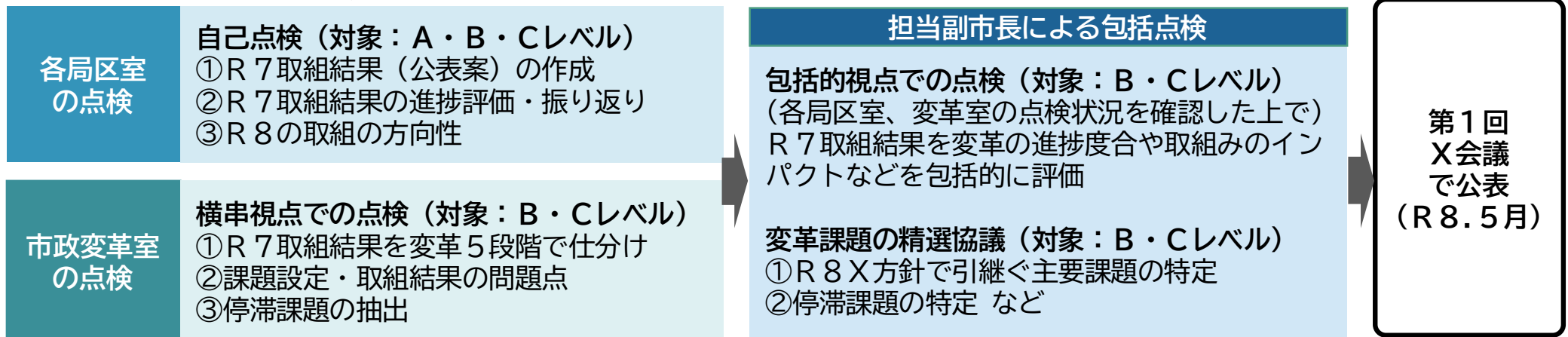
第4回X会議（1/30）で共有した事項

- ① B・Cレベルの課題の精選
- ② 取組状況の定期的な把握（横串で点検）
→副市長による取組状況の評価が必要
- ③ 停滞する課題の『進め方』の設計

共有事項を踏まえた、進捗把握等のアップデート

- ① 定期的な把握（X会議報告）を年度当初と年度途中の年2回実施
『局区の自己点検』に加え、『担当副市長による点検』を実施
- ② R7 X方針については、担当副市長による取組結果の点検の際に、R8 X方針における主要課題や停滞課題の有無を局区と事前協議
- ③ ②で特定した停滞課題があれば、必要に応じて包括的な場で協議

■ R7取組結果の点検の流れ



※停滞課題とは・・・

- ・ 課題の論点抽出や仮説立てにおいて、所管分野を超えてより包括的な視点から課題を解いていくべき必要があると判断されるもの。

R 8局区X方針の作成方針・スケジュール

R 8年度の作成方針

1 局区長自身の言葉で作成

→ R 7方針を振り返った上で、中長期の市政を見据えて
「今掘り下げるべき課題」かつ「今から着手していくもの」などを設定

2 以下のような課題を設定しない

→ × ゴールやアクションが明らかになってしまっている通常の業務課題（重要な政策課題 ≠ 変革課題）
× 内容が理念的・抽象的すぎる課題（永遠に見直されない課題） など

👉 **上記作成方針に沿って、B・Cレベルの課題を厳選し、本質的な変革課題を設定**

今後のスケジュール（予定）

R 8年度

R 9年度

★4月上旬～
R8X方針

・各局区R7振り返り, R8作成

作成～公表

★4月下旬～
R8X方針

・策定前副市長協議
R7結果の副市長点検
R8課題の精選
停滞課題の特定

★5/26

第1回X会議
・R8の流れ等を説明
・R8局区X方針の
全体公表

★11月開催
のX会議

・X方針進捗状況の確認

進捗確認

★年度当初
のX会議

・R8X方針の取組結果 公表

結果

👉 **5月、11月の2回のX会議において、全体の進捗状況を定期把握**

※ 上記スケジュールのほかに、停滞課題があれば、必要に応じて市長・3副市長等による内部会議の場を設定。課題のボトルネック、論点整理や今後の切り口などを包括的な視点から討議し、実行担当や次のマイルストーンを決め、取組みの前進を後押し。

R7の包括点検の結果及びR8における課題の精選状況

- ・ R 7 取組結果の包括的な点検において、「順調に進めている」と評価する課題は 5 0 %程度にとどまった。
- ・ R 7 の包括点検、振り返りのもと、各局・室・委員会において、変革課題として、R 8 X 方針でも継続して設定すべきかなどの精選を行った結果、R 8 方針では、R 7 と比較して、B・Cレベルの課題数は、約 3 分の 1 となっている。

◆ R 7 取組結果における包括的な点検状況（B・Cレベルの全 1 4 3 件を点検） (件)

担当副市長による包括的な点検状況	局・室・委員会	区役所	合計
◎：順調に進めていると評価するもの	57	13	70
●：X方針として設定すべき課題や取組内容の検討（見直し）が必要と思われるもの	61	12	73

【評価例】

- ◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができている。
- ◎ 小さい成功を生み出した(ている)。
- ◎ 具体的な分析ができている。 など

- 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
- 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。 など

◆ R 8 課題の設定状況（B・CレベルにおけるR7・R8の課題数比較） (件)

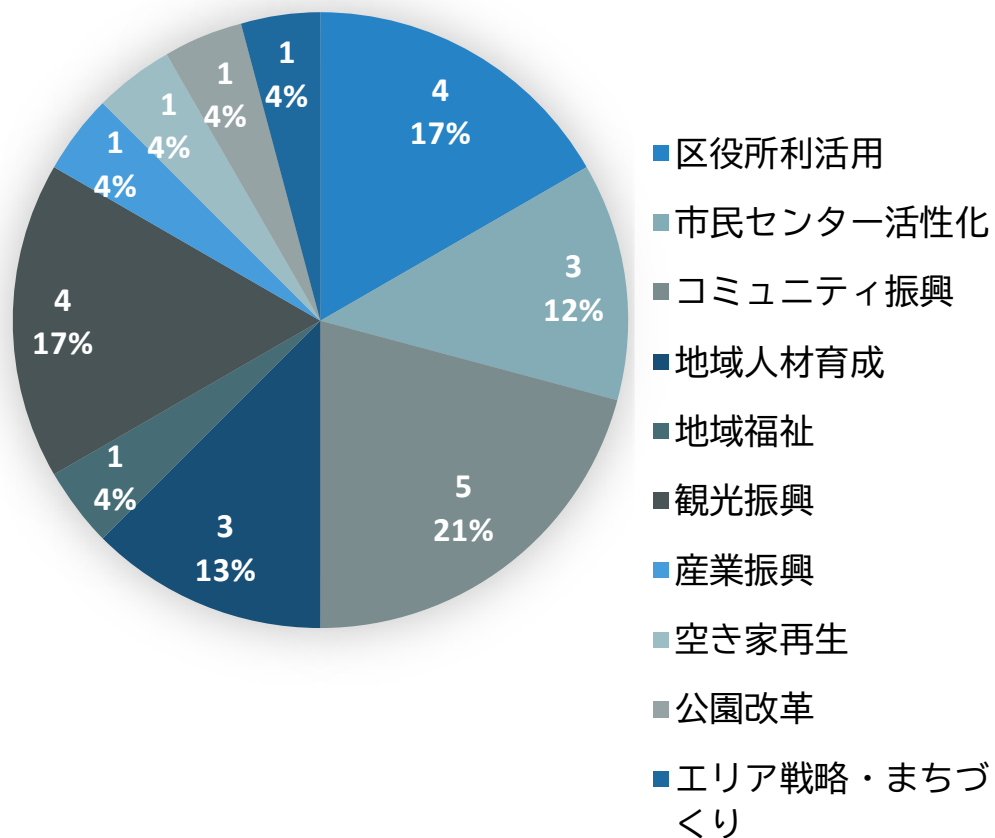
	局・室・委員会(20方針)			区役所(7方針)		
	R8X方針	R7X方針	前年増減	R8X方針	R7X方針	前年増減
Bレベル	28	85	▲57	16	16	0
Cレベル	11	33	▲22	8	9	▲1
計	39	118	▲79	24	25	▲1

R8局区X方針(区X方針の状況)

- 区役所X方針では、B・Cレベルの課題分野の内訳をみると、区役所利活用・コミュニティ関連が16件・67%を占める一方で、観光や産業振興、空き家再生など、他の政策分野の課題も8件(約33%)設定している。
- 各区長において、区それぞれの特性や地域資源等を踏まえた、横断的な視点から課題を設定している。

区X方針における課題設定の状況

B・Cレベルの分野別内訳 (7区24件)



【区役所利活用・コミュニティ関連の課題例】

➤ 区役所利活用

- 感動区役所・区役所空間改善(八幡東区/B)
- 小倉北区役所庁舎のあるべき姿の実現に向けたプランづくり(小倉北区/C)

➤ 市民センター活性化

- 現役世代・子育て世代のニーズに合わせた柔軟な市民センターの運営(小倉南区/B)

➤ コミュニティ振興

- 地域の実情に応じた地域づくりへのサポート(小倉北区/B)
- 見える化と共有で動かす地域のお困りごと(八幡西区/B)

➤ 地域福祉

- 持続可能な「地域ケア研究会」の取組(若松区/B)

【その他の分野の課題例】

➤ 観光振興

- 「皿倉・河内・東田」リトリート&アクティブ・エリア化(八幡幡東区/B)
- 若松北海岸の観光地化(若松区/C)

➤ 産業振興

- マッチングではぐくむ定着のサイクル(産業人材の確保と定着)(八幡西区/B)

➤ 空き家再生

- 古民家等を活用した民間主体のエリアマネジメント(門司区/B)

➤ エリア戦略・まちづくり

- 「文教のまち」として選ばれるまちづくり(戸畑区/C)

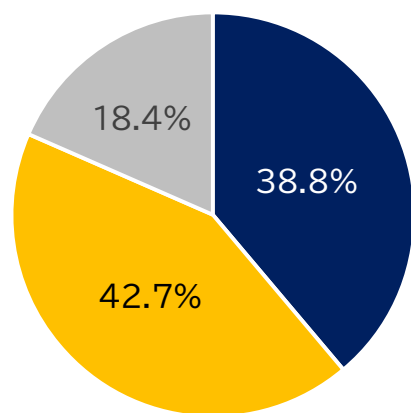
令和8年度各局区X方針の全体状況①(5月26日公表ベース)

- ・各局区X方針の課題総数（ABCレベル全数）は、1件から8件までとばらつきがあり、上位の多くは区役所となっている。
- ・27局区中、11局区がABCレベルを各1件以上設定している一方で、Aレベルのみが2局、Bレベルのみが6局あった。

<課題件数（全体）>

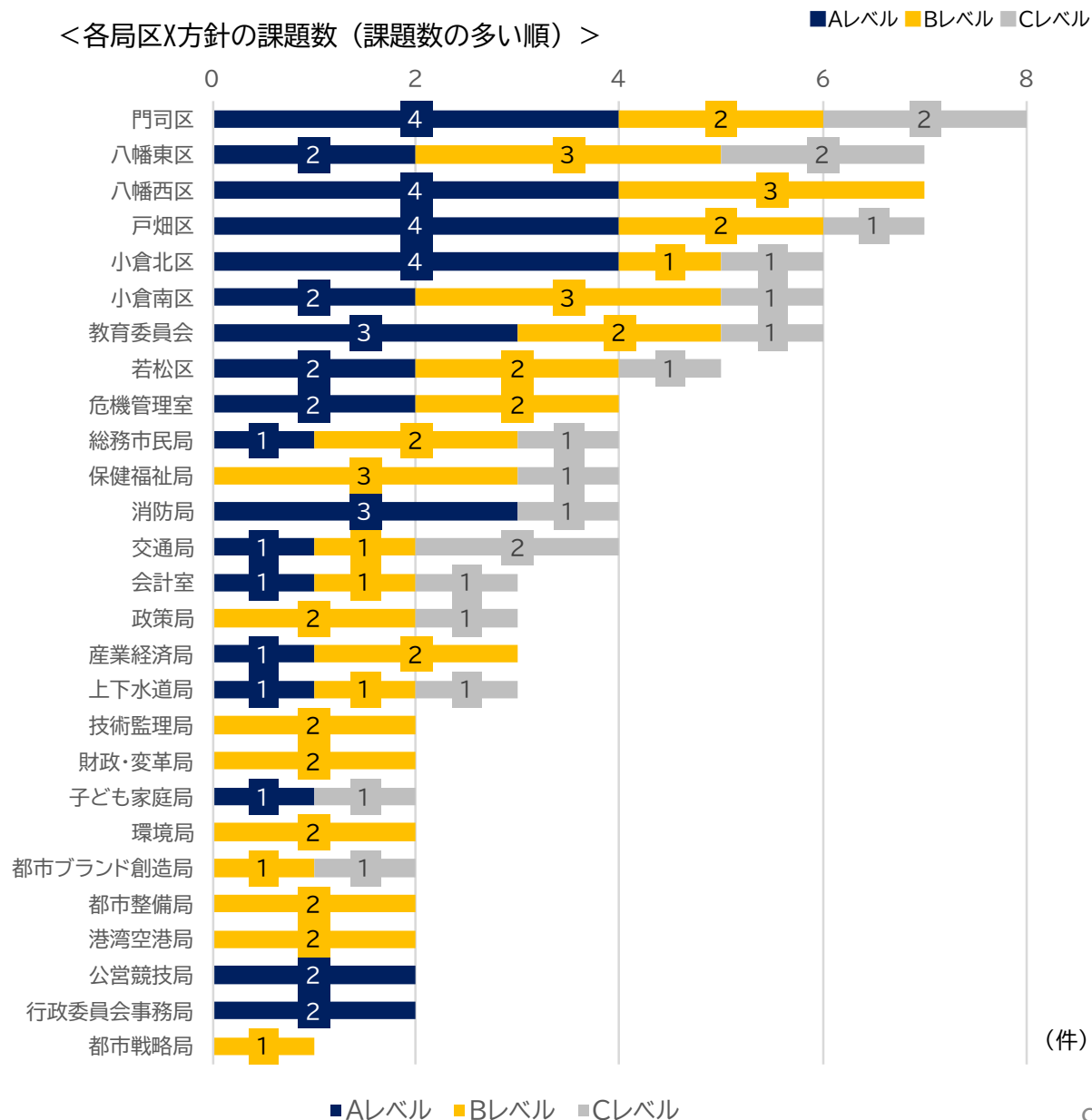
課題領域	件数
Aレベル	40件
Bレベル	44件
Cレベル	19件
計	103件

ABCレベルの割合（全体）



■Aレベル ■Bレベル ■Cレベル

<各局区X方針の課題数（課題数の多い順）>

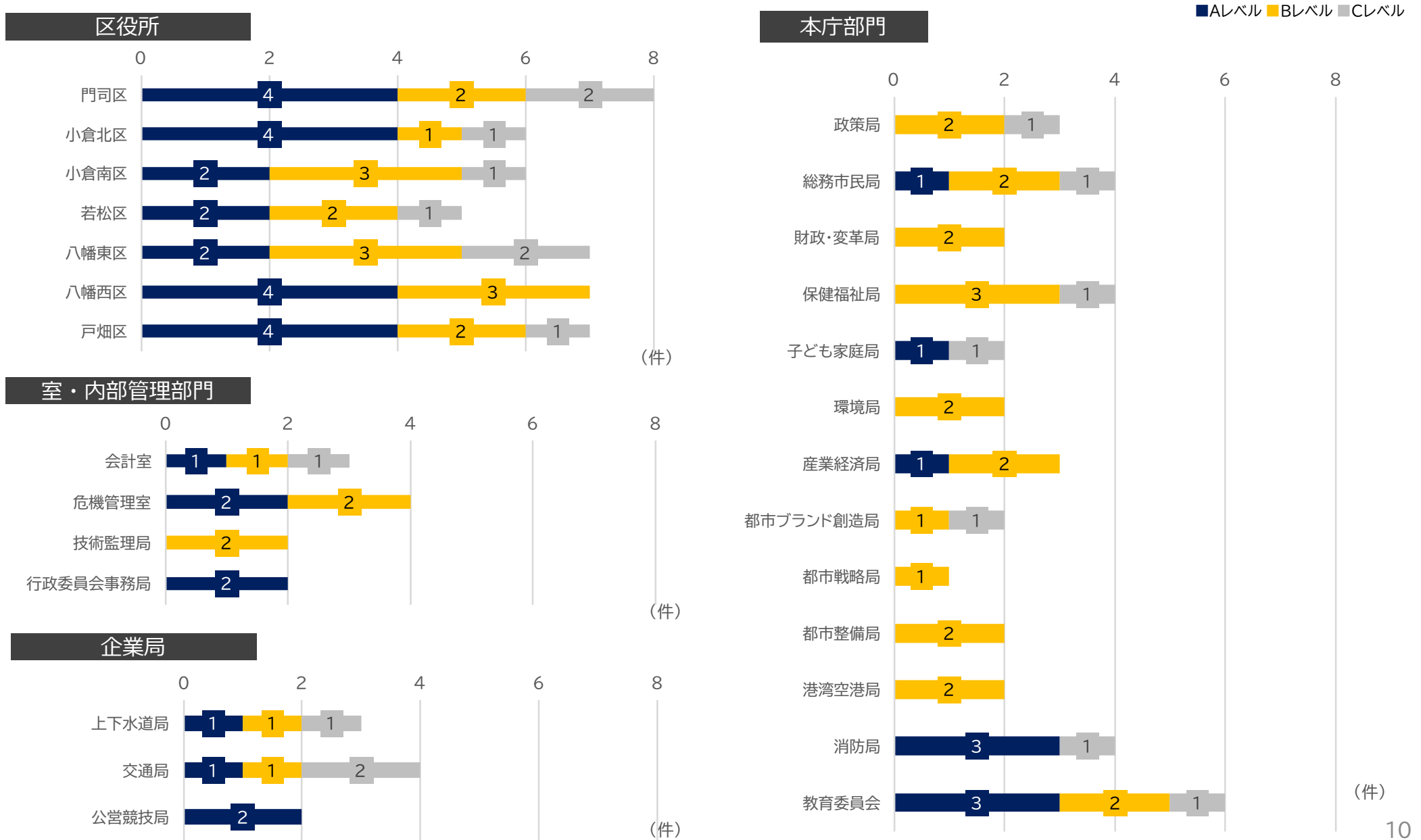


(件)

■Aレベル ■Bレベル ■Cレベル

令和8年度各局区X方針の全体状況②(5月26日公表ベース)

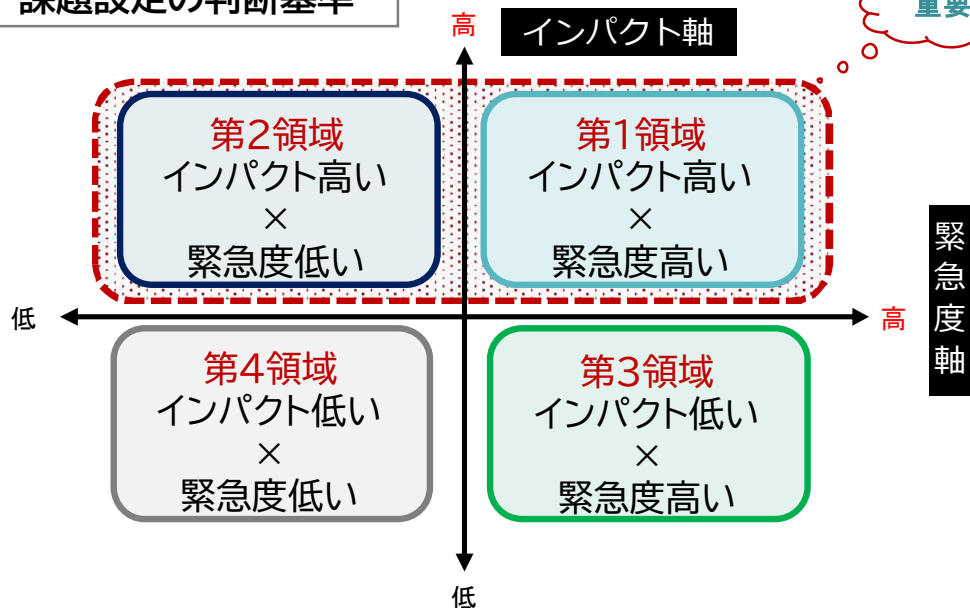
- ・本庁部門の局、室・内部管理部門、企業局の平均課題設定数が、3件前後であるのに対し、区役所は平均6.6件となっている。
- ・本庁部門の局では、Aレベルの課題を設定していない局が多い(13局中、8局)。



令和8年度各局区X方針の全体状況③(5月26日公表ベース)

- ・課題総数（ABCレベル全数）103件のうち、第1領域が53件で約52%を占め、次に『第2領域』が33件で32%、第3領域、第4領域の順となっている。
- ・ABCレベル別の内訳で見ると、Aレベル40件では、第1領域が35%、2・3領域が26%前後ほどであるのに対し、Bレベル44件、Cレベル19件では、いずれも第1領域が50%以上を占め、第4領域が0件となっている。

課題設定の判断基準

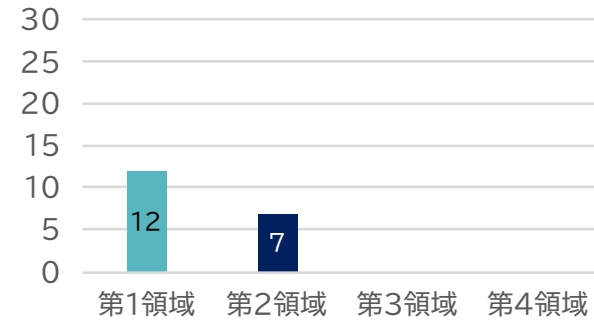
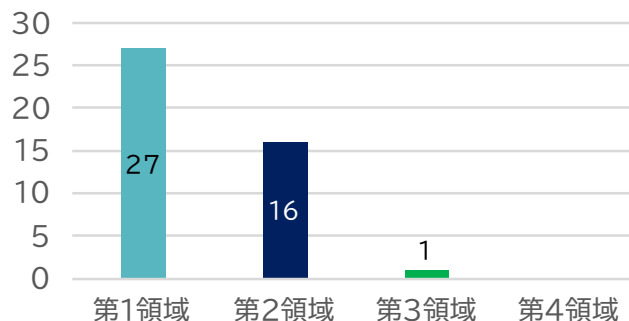
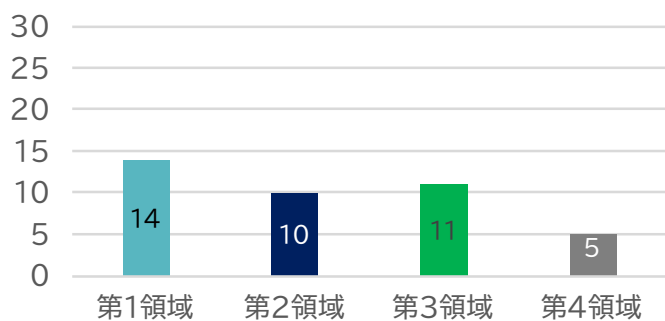


<課題件数(全体)内訳>

マトリクス領域	課題件数
【第1領域】 インパクト高い×緊急度高い	53件(51.5%)
【第2領域】 インパクト高い×緊急度低い	33件(32.0%)
【第3領域】 インパクト低い×緊急度高い	12件(11.6%)
【第4領域】 インパクト低い×緊急度低い	5件(4.9%)
計	103件

ABCレベルでの内訳

■第1領域 ■第2領域 ■第3領域 ■第4領域



Aレベル
40件

Bレベル
44件

Cレベル
19件

參考資料

(参考)R8各局区X方針課題一覧①

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
会計室	A	財務	会計事務の業務改善(簡素化・効率化)	(1)財務会計システムの機能アップ (2)会計事務のAI活用(AI会計室等)
	B	財務	市民企業等の利便性向上につながる会計事務のDX推進(デジタル化)	(1)デジタル収納の推進 (2)電子請求の導入 (3)債権者登録(会計室)の電子化と業者登録(技術監理局)の統合
	C	財務	将来に向けた適正かつ効率的な会計事務の確保	(1)会計事務への更なるAI活用 (2)調達から請求・支払いまでの一連の事務処理の実現
危機管理室	A	防災	危機管理センターの整備検討	基本構想の策定及び整備にかかる予算等の調整
		安全安心	客引き行為への対策	巡視体制の強化及び禁止区域の拡大等
	B	防災	新たな担い手の育成等による地域防災力の向上	(1)小中学生・高校生・大学生までの教育段階に応じた防災知識の普及 (2)学校と地域の連携による新たな担い手の仕組みづくり
		防災	避難行動要支援者に対する避難支援の仕組みづくり	実災害時における避難支援の検証
技術監理局	B	公共工事・人材育成	次世代のまちづくりを支える担い手育成と組織基盤の確立	(1)地元建設業の魅力発信強化 (2)市役所技術職員の確保・育成及び組織力向上 (3)公共施設マネジメント基本計画(社会インフラ版)見直し案作成と各個別施設計画への展開
		契約事務・公共工事	契約事務及び公共工事における設計業務のDX推進	(1)次期契約システム等の構築及び契約制度の見直し (2)設計業務システムの構築

(参考)R8各局区X方針課題一覧②

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
政策局	B	国際	海外でのプレゼンス向上及び外国人も住みやすいまちに向けた国際関連施策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・国際戦略の策定 ・市内の情報集約・活用・必要に応じた助言 ・海外に向けた情報発信の強化 ・外国人も住みやすいまちに向けた取り組み
		DX推進	DX・AIによる新しい窓口へのアップデート	<ul style="list-style-type: none"> ・スマラく区役所サービスプロジェクトの実施
	C	政策	世界をリードするサステナブルシティの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・「Next Horizon Sustainable City」の具現化に向けた市内の共創体制構築 ・具現化する3つのプロジェクトの推進
総務市民局	A	地域振興	地域の拠点として多世代が利用しやすいサステナブルな市民センターに向けた環境整備	予約システムの導入、日曜開館の拡大、運営体制の見直し検討
	B	地域振興	地域コミュニティビジョンの推進	「共助がはたらきやすいまち」を目指し、①参加しやすい仕組みづくり②団体間の連携促進③地域団体の負担軽減に取り組む。
		人財戦略	次代を創る人財の確保、未来を動かす人財の育成	多様で有為な人材の確保及び職員の成長を促す人材育成
	C	生涯学習	市民活動拠点施設として相応しい生涯学習センターのあり方検討	施設の老朽化、稼働率、本質的なあり方
財政・変革局	B	アセットマネジメント	公共施設の価値向上と未利用市有地の商品化・流動化を原動力とした街のアップデート	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利便性や魅力、質の向上による、新たな価値の創出と資産価値の最大化 ・未利用市有地等の最適な売却・活用方法の検討による、まちづくり施策を包含した民間投資を呼び込むマネジメントの推進
		税務	政策立案能力強化のための税務データオープン化	<ul style="list-style-type: none"> ・税務データを抽出・分析する手法の確立 ・事業の税収への影響の検証、税収増加につながる政策立案へ寄与

(参考)R8各局区X方針課題一覧③

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
保健福祉局	B	高齢者福祉	高齢者の健康寿命の延伸に向けた事業の再構築と取組の強化	・介護予防事業の再構築 ・高齢者の活躍推進
		障害者福祉	障害福祉サービスの質の向上と持続可能な制度運営の構築	・障害福祉サービス費の分析 ・障害福祉サービスの質の向上 ・相談機能の向上
		政策連携団体	北九州市福祉事業団(政策連携団体)の持続可能性の確保	・法人の自律的な運営の実行支援
	C	地域福祉	地域コミュニティと地域福祉が相互に連携した支え合いの仕組みづくり	・地域コミュニティビジョンを踏まえた、次期地域福祉計画の策定 ・地域コミュニティと地域福祉の取組の連携による地域の支え合いの基盤の更なる強化
子ども家庭局	A	局全体	デジタルツールの活用などによる事務の効率化と生産性の向上	(1)業務フローの見直し (2)デジタルツールの活用検討および導入
	C	保育	多様化する保育ニーズへの対応	(1)民間施設への支援強化等の方策を検討 (2)保育人材確保のあり方を検討 (3)直営保育所の整備手法などの検討
環境局	B	循環経済システムの構築	持続可能な社会の実現に必要なごみ処理体制のあり方の検討及び周辺自治体との連携について	(1)ごみ処理施設のあり方の検討 (2)周辺自治体との連携
		市民環境力の強化	市民の行動変容を生み出す施策構造への転換	(1)ギラヴァンツ北九州と連携したSPLの推進(環境×スポーツ) (2)ネイチャーポジティブ推進重点モデル地区事業(環境×観光、まちづくり) (3)環境配慮型ライフスタイルへの転換に向けた広報啓発事業(プラットホーム) (4)「北九州クリーンタウン」プロジェクト(まち美化) (5)局内横断の検討・実行体制の仕組化
産業経済局	A	人材育成	職員の育成	民間企業等と対等に渡り合うことができる職員の育成・活躍に向けて、局内研修の実施、職員育成に係る環境整備を行う。
	B	公共インフラ	中央卸売市場の再整備	中央卸売市場の老朽化対策及び機能強化と施設の規模の適正化について、場内事業者の合意形成を図りつつ、整備手法の検討を進める。
		産業振興未来戦略	北九州学術研究都市と北九州産業学術推進機構の機能強化	令和7年2月に策定した「G-CITY戦略」に基づき、FAISのあり方(事業手法、経営手法等)を含めて見直しを進める。

(参考)R8各局区X方針課題一覧④

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
都市ブランド創造局	B	文化	政策連携団体のあり方(芸術文化振興財団の体制強化)	中長期計画(組織変革プラン)の策定
	C	文化・観光・MICE・スポーツ	持続可能な施設のあり方	(1)利用者目線を踏まえ新たな施設分類の再定義 (2)ホール系施設への利用料金制導入等の検討 (3)ホール系施設のあり方検討 (4)民間活力導入に向けた具体的な検討 (5)JR小倉駅新幹線口のMICE施設のあり方検討(西日本総合展示場、北九州国際会議場) (6)皿倉山ケーブルカー・スロープカーにおける移送手段及び民間活力導入等の検討 (7)公共施設マネジメント実行計画の見直しに伴うスポーツ施設のあり方検討
都市戦略局	B	都市交通	将来にわたる公共交通の維持・確保	(1)公共交通の再構築(リ・デザイン)
都市整備局	B	河川・公園事業	水と緑がつなぐ新たな価値化	(1)到津の森公園から始まる中央公園の新たな価値化 (2)勝山公園x紫川の認知度向上・価値化 (3)身近な公園の新たな価値化
		市営住宅事業	市営住宅ストックの有効活用	(1)市営住宅ストックの有効活用
港湾空港局	B	港湾	港の稼ぐ力の強化	(1)港の能力を最大化するための調査・検討・実施
		空港	空港の稼ぐ力の強化	(1)特急停車本数の増便に係る利用状況の分析・評価や国際線増便等に合わせた更なる利用促進及びエアポートバスの待合環境改善 (2)年間を通じた空港内でのイベント実施等による魅力の向上

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑤

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
門司区	A	市民サービス向上	市民に寄り添う窓口サービスの充実	・「おくやみコーナー」におけるワンストップサービスの本格運用を開始し、運用後も改善を図る。
		市民サービス向上	デジタル活用と業務改革による行政サービスの質の向上	・職員へのAI活用研修を通じて、DX化および業務改善を推進する。
		地域振興	地域の担い手の参画を促進する新たな仕組みづくりによるコミュニティ活性化	・ボランティア募集サイトを活用し、地域活動への参加のハードルを下げることで、若者の参画を促進する。
		地域振興	海と山が迫る地形的特性や高齢化に対応した地域主体の防災力の強化	・NPO、学生、企業等民間活力を利用した啓発活動を支援するとともに、地理的特性を視野に入れた防災対策を推進する。
	B	地域振興	若者、地域、民間の連携推進による関門エリア活性化	・若者と地域、企業等が連携した地域課題解決活動を支援する。
		地域振興	古民家等を活用した民間主体のエリアマネジメント	・古民家の活用・再生による滞在性・周遊性の向上を図る民間主体の「まちづくり会社」の設立に向けた伴走支援を行う。
	C	地域振興	地域と観光をつなぐ新たなモビリティの検討	・観光客と地域住民双方の利便性向上に向けた交通手段の実証実験を実施する。
		地域振興	地域の誇りを育む現門司区役所の活用方法の検討	・門司港地域複合公共施設への移転後の活用方法について、地域の意見を丁寧に聴取し担当部局と連携し検討を進める。

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑥

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
小倉北区	A	まちづくり	多様な人々が気軽に交流できる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に実施した市民センターを活用した取組を拡充・横展開し、地域の学生等とも連携した新たな取組を行う。 市民センターでの取組が、より地域の人々に届くよう、市民センターの情報にアクセスしやすい環境を整える。 子どもや学生など未来を担う幅広い世代が地域に愛着を持ち、地域づくりに興味を持てる取組を新たに企画、実施する。
		区役所改革	市民サービス向上やまちづくりにつながる業務改革・環境改善	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に行った庁舎点検等の取組を、外部関係者や利用者の視点を取り入れることで発展的に継続し、可能な範囲から、案内サイン等の改善に着手する。 令和7年度に引き続きDX・AI戦略室と連携し、現場レベルでのAI活用やDXを推進する。 若手職員の育成と課題解決を両立する取組として、「区役所業務トレード研修」や「MOUPプロジェクト」などのバージョンアップを図る。 旧態依然の事務処理や手続きを根本から見直し、区民の利便性と事務の効率化を図る。
		まちづくり	地域における外国人との共生	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会と連携したセミナー等の開催や、外国人住民向けのきめ細かい生活関連情報の周知・啓発等の取組を実施する。 地域の中の多様な住民が交流できるようなモデル事業を試行する。
		観光大都市への進化	区内の観光資源の掘り起こし・情報発信の強化、並びに区の垣根を超えた周遊観光の促進	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に実施した区の垣根を超えたイベント企画や、情報発信力の強化を目的とした研修等を継続するとともに、新たに区内公共施設等との連携事業を試行する。 商標登録中の区役所キャラクターを活用するなどし、区の魅力を発信していく。
	B	まちづくり	地域の実情に応じた地域づくりへのサポート	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に全校区で実施したヒアリング等の結果を活かすとともに大学等の意向やカリキュラム等も踏まえ、大学等による既存の地域活動等を拡充・展開する方向で地域の支援策を研究し、より具体的な提案を行う。 市民センターを核とした継続的で発展的な地域支援のため、市民センター館長向けの研修を実施し、企画力等の向上を図る。
	C	区役所改革	小倉北区役所庁舎のあるべき姿の実現に向けたプランづくり	<ul style="list-style-type: none"> 東棟3階で実施したレイアウト変更の取組を横展開し、特に現状の窓口レイアウト・執務環境に課題がある西棟1階(保健福祉課)の改善計画を作成し、可能な範囲から着手する。 大学ほか外部関係者と連携しつつ、利用者の視点を取り入れた案内サインの改善に向けた計画やガイドラインを策定し、一部、具体的な改善を図る。 一か所の区役所窓口で市民の相談が解決し、(たらいまわしや案内漏れがないように)区役所の窓口体制を再構築し、市民に適切な支援やサービスを提供する。

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑦

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
小倉南区	A	市民サービス	「親子ストレス・フリー」区役所への変革	・区役所の余剰スペースを活用し、親子連れの来庁者特有の「待ち時間」と「手続き中」の2つのフェーズでの余計なストレスをゼロへ
		地域コミュニティ	日常的な地域情報の把握と共有(校区担当の機能強化)	担当職員の日常的な ・地域訪問とコミュニケーションの深化 ・関係課間での情報共有・連携向上
	B	市民サービス	現役世代・子育て世代のニーズに合わせた柔軟な市民センターの運営	・モデル校区による市民センターのあり方検討(ヒアリングやアンケートの実施、日曜開館の検討など)
		地域コミュニティ	時代の変化や地域特性に応じた新たな持続可能な地域コミュニティの形成	地域コミュニティのリ・デザインに向けた ・多様な地域コミュニティとの情報交換(校区キャラバン、茶話会(仮)など) ・校区カルテ作成による地域人財の蓄積
		地域資源活用	地域資源の活用と人材育成	・区役所職員による地域へのダイブと地域資源の掘り起こしや磨き上げ
C	市民サービス、地域コミュニティ、地域資源活用	区役所の一步先の価値観を体現する「未来型区役所」のデザイン	・企画・政策立案機能の強化(地域資源の活用) ・持続可能な新たな地域コミュニティの形成 ・将来の区役所の機能・レイアウトの設計	
若松区	A	市民サービス	外国人にとってわかりやすい区役所づくり	・庁舎内の案内表示の多言語化 ・窓口における申請書類等の多言語化
		市民サービス・まちづくり	区役所庁舎の空きスペースの新しい活用のあり方	空きスペースを、従来の利用方法(会議室等事務利用)にとらわれず、新しい活用のあり方を検討
	B	まちづくり	持続可能な「地域ケア研究会」の取組	開催時間・頻度等の開催方法等の見直しを検討・実施
		まちづくり	市民センターの活性化	・地域ごとに課題解決に向けた実践的取組につながるよう関係者間の意見交換の実施、連携の促進 ・多世代の参加につながるイベントや地域間交流の促進につながる事業を実施
C	まちづくり	若松北海岸の観光地化	・観光地化に必要な施設整備の推進 ・地元事業者によるにぎわいづくりの促進	

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑧

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
八幡東区	A	感動区役所	地域の活力を高める情報発信	(1)機動的な情報発信の構築 (2)市民に刺さる情報発信 (3)「八幡東倶楽部♥」の更なる充実、活性化
		人とつながる市民センター	みんなの市民センター	(1)だれもが行ってみたいくなる市民センターとして、情報発信及び講座の充実
	B	感動区役所	区役所空間改善	(1)来庁者がまた来たくなるような感動空間の創出
		感動区役所	「皿倉・河内・東田」リトリート&アクティブ・エリア化	(1)観光ルートの作成及び情報発信
		いきいき地域	新たな地域の担い手を創出	(1)学生同士の交流機会の確保 (2)学生と地域をつなぐ仕組みづくり
	C	いきいき地域	新たな地域の仕組みづくり	(1)大学生や高校生等若者をつくる未来型自治会プロジェクト
		人とつながる市民センター	市民センターの運営体制のあり方の検討・見直し	(1)総務市民局(地域振興課)と連携した現状の課題や問題点の共有化 (2)地域・人づくりコーディネーターによる地域の人材育成強化

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑨

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
八幡西区	A	地域社会	地域と仕掛ける再生のトリガー	・黒崎再生の原動力となる「クロサキスイッチ」を地域と共に展開
		市民サービス向上	やさしさとデジタルで整えるまちの窓口	・区民・職員の声とDX・AIで、誰もが利用しやすい区役所の「窓口環境」を整備
		市民サービス向上	まるごと楽しむコムシティのアップデート	・施設内セクターが連携した情報発信やイベントの実施 ・利用者が求める機能の拡充
		人材育成	挑戦をチカラにしなやかな人財デザイン	・プラチナ・ZPTで挑戦する職員を後押し ・多様な研修を通じた他業務への参画と職員が成長する機会の付与
	B	官民連携地域社会	マッチングではぐくむ定着のサイクル	・企業×学生による、産業人材の確保と定着
		官民連携地域社会	マッチングではぐくむ地域の担い手	・地域×企業、地域×学生による、地域コミュニティの活性化
		地域社会	見える化と共有で動かす地域のお困りごと	・地域課題を見える化・共有する「(仮称)八幡西区版地域カルテ」の構築による地域課題の解決

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑩

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
戸畑区	A	行政サービス	窓口業務の応援体制整備	・課を越えた業務応援体制の制度設計と試験運用
		行政サービス	市民に寄り添ったDX窓口	・支援窓口設置による市民サポート体制の構築 ・体験講座及び人材育成実施によるDX支援の強化
		行政サービス	認知症の人の権利と資産保全	・地域団体や関係部署等へ相談先周知や研修 ・金融機関、警察署との連携強化
		若い世代の居場所づくり	気軽にあつまり交流できる場としての区役所づくり	・若者の居場所情報の周知と利活用の検討
	B	多世代・地域交流の仕掛けづくり	「歩いて楽しいウォーカブルなまち」としての回遊性向上と賑わいの創出	・官民共同による賑わいづくりの実施 ・汐井町公園整備に向けた周知と設計等の実施
		地域コミュニティ	持続可能で自律した地域コミュニティの構築	・「地域担当者制」による各地域の課題収集と横展開 ・市民センターでの“推したくなる”講座の企画と情報発信 ・防災訓練を活用した多世代交流
	C	まちづくり	「文教のまち」として選ばれるまちづくり	・「文教のまち」としてのポテンシャル調査 ・関係者との意見交換等を実施
消防局	A	救急	増加する救急需要の対策	(1)消防力の最適化による救急体制強化の検討
		人材確保／地域防災	大学連携による消防団員の入団促進	(1)大学と連携した地域課題解決プロジェクト
		人材組織／組織運営	若手職員の育成と柔軟な発想の活用	(1)「消防未来創造プロジェクトチーム」の運営
	C	消防体制整備	持続可能な消防体制の構築	(1)持続可能な消防体制の構築に向けた局内検討の推進

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑪

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
上下水道局	A	上下水道	給排水工事申請の効率化	(1)DXを活用した時間、場所に制約されない給排水工事申請の実現
	B	上下水道	株式会社北九州ウォーターサービスとの連携強化	(1)政策連携団体への更なる委託範囲拡大の検討等
	C	上下水道	将来にわたる上下水道事業の健全経営やサービス水準維持の実現(経営環境の変化への対応)	(1)持続可能な上下水道事業の構築の検討(ウォーターPPPや包括委託などの導入検討) (2)施設の最適化に関する検討(ダウンサイジングの検討)
交通局	A	局全体	人事・給与関係業務等の標準化・DX化	(1)属人的要素の強い業務の標準化・一般化 (2)給与関係業務等のDX化
	B	事業経営	持続可能な交通事業の構築	(1)利用者が少ないが、「生活の足」として必要な路線の効率化
	C	事業経営	貸切バスの営業拠点の拡大	(1)新たな拠点となるエリアの調査及び検討
		局全体	施設・車両の老朽化対応	(1)収支均衡(黒字化)に向けた経営改善 (2)車両の更新手法の検討 (3)財政基盤を整える枠踏みの協議
公営競技局	A	公営競技	売上向上による市財政への貢献	・ミッドナイトボートレースの開催日数及び開催時間の拡大 ・防風対策の実施
		公営競技	ファンや地域に愛されるレース場づくり	・レース以外でも楽しめるレース場づくり ・魅力あるボートレース場の整備 ・北九州メディアドームの大規模改修 ・公営競技普及に向けた取組み ・公営競技の公益性のPR

(参考)R8各局区X方針課題一覧⑫

【凡例】○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

局区名	課題領域	政策分野	課題名	課題に対する取り組み
教育委員会	A	教育環境(ソフト)	教職の魅力発信	(1)せんせいスタートプロジェクト 教職員の出身高校に出向き、教職の魅力やキャリアプラン等、対話的な活動を通し、教員免許が取得可能な大学への進学を促す。 (2)kitaQみらい塾 大学に出向き、出前講座にて対話やグループワークを通し、教職の魅力を伝える。また、「先生が安心して働ける北九州市」を広く発信する。
		教育環境(ソフト)	AI型学習アプリの導入による「個別最適な学び」の推進	(1)「北九州市AI型学習アプリ活用アクションプラン」の作成・普及と、学校への伴走型支援の実施。AI型学習アプリの活用効果検証を行う。
		教育環境(ソフト)	子ども読書活動の推進	(1)「学校まると図書館」の推進 「学校全体が図書館」と捉え、学校生活において、自然に本と出会える環境づくりを行う。 (2)子ども図書館での体験型イベントの展開 「エンタメ要素」を最大限に盛り込んだ体験型イベントを展開し、図書館を「子ども・多世代エンターテインメント拠点」として機能させる。
	B	教育環境(ソフト・ハード)	地域クラブ活動の推進	(1)地域クラブ活動の推進に向けた取組の進化 教育委員会内にPTを設置するとともに、関係者から意見を得る機会を拡充する等により、地域クラブ活動を一層広げていく上での課題を整理し、個々の取組をアップデートする。
		教育環境(ソフト・ハード)	持続的な給食提供体制のあり方	(1)現状分析を踏まえた給食提供体制の検討 北九州市の給食提供の現状(情報)や、他自治体の提供体制を踏まえ、今後の給食提供体制について様々な方策を検討、論点を整理する。
	C	局全体	新たな時代の教育デザイン	(1)市立小中学校における実践例や他都市事例の収集・分析を行う。また、学校・保護者・地域はもとより、高校・高専・大学・産業界などの関係者とも幅広く意見交換を行うことで、小中一貫校の整備及び新たな教育モデルについて、方向性を具体化する。
行政委員会事務局	A	人事	将来の市政を担う優秀な人材の確保	・採用試験の見直しに向けた調査・検討 ・リクルート活動
		選挙	若者世代の投票率の向上	・若者の投票参加促進のための取組

R7各局区X方針のB・Cレベルの点検結果①

凡 例 ◎：順調に進めているもの
●：X方針の課題設定として検討が必要なもの

局区名	課題領域	課題	変革段階	包括点検の結果
会計室	B	市民企業等の利便性向上	3	◎
	C	将来に向けた適正かつ効率的な会計事務の確保	2	◎
危機管理室	B	市職員の防災対応能力の向上	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		巨大地震発生時における職員配置体制の整備	2	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
	C	新たな担い手の育成等による地域防力の向上	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		避難行動要支援者に対する避難支援の仕組みづくり	1	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
技術監理局	B	働き方改革・生産性向上に実践的に取り組む地元建設業者の拡大	4	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
		公共工事等を担う技術職員の人材確保・育成に寄与する、若い世代が成長を実感できる環境づくり	4	◎ 小さい成功を生み出している。
		持続可能なインフラマネジメント	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		契約事務のDX推進	4	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
政策局	B	広域連携の推進	1	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		海外でのプレゼンス向上及び外国人に選ばれるまちに向けた国際関連施策の実施	1	● より具体的な分析が必要と思われる。
		政策連携団体(アジア成長研究所)の在り方	4	● より具体的な分析が必要と思われる。
		政策連携団体(北九州国際交流協会)の在り方	4	● より具体的な分析が必要と思われる。
		政策連携団体(アジア女性交流・研究フォーラム)の在り方	4	● より具体的な分析が必要と思われる。
		「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現	5	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
	C	北九州市・新ビジョンの実現に向けた戦略的な政策展開	1	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		世界をリードするサステナブルシティの実現	4	◎ X方針外での取組を検討してはどうか。
		女性のリアルな声に基づいたコンフォートなまちの実現	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		DXによる新しい行政へのアップデート	4	◎ X方針外での取組を検討してはどうか。
より便利で、より安心なネットワーク環境の提供		4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。	

R7各局区X方針のB・Cレベルの点検結果②

凡 例 ◎：順調に進めているもの
●：X方針の課題設定として検討が必要なものの

局区名	課題領域	課題	変革段階	包括点検の結果
総務市民局	B	地域団体・市民センターへの依頼事項の整理と負担軽減	3	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		地域団体(自治会等)の事務作業のDX推進	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		地域団体(自治会等)が外部の力を活用できる体制の構築	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		地域の拠点として多世代が利用しやすいサステナブルな市民センターに向けた環境整備	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		区政強化のための新たなスキームの検討	4	◎ X方針外での取組みをを検討してはどうか。
		人材確保・育成	4	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
	C	客引き行為への対策	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		本庁舎の建て替え	1	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。
		生涯学習センターのあり方検討	2	● より具体的な分析が必要と思われる。
財政・変革局	B	市政変革と連動した令和8年度予算編成方針	5	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。
		公共施設マネジメントの推進	3	◎ 具体的な分析ができています。
		市と政策連携団体の連携体制の確立	3	◎ 具体的な分析ができています。
		未利用市有地等の売れる化・使える化	5	◎
		市税事務所改革	5	◎
		税収構造の見える化、税収増加策の検討	2	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
	C	市民に分かりやすい広報・周知	4	● 課題の切り口が限定的になっており、業務改善などAレベルの取組内容ありきの課題設定となっている。本質的なB・Cレベルの課題の設定ができていない。
		将来にわたる持続可能な財政の確立	4	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。

R7各局区X方針のB・Cレベルの点検結果③

凡 例 ◎：順調に進めているもの
●：X方針の課題設定として検討が必要なものの

局区名	課題領域	課題	変革段階	包括点検の結果
保健福祉局	B	人生100年時代に向けた長寿社会対策の強化と再編	4	◎ 小さい成功を生み出している。
		認知症の早期発見と効果的な介護予防活動につなぐ仕組みづくり	2	● より具体的な分析が必要と思われる。
		データに基づく高齢者の地域生活支援の充実	2	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
		市民が安心して医療を受けられる政策医療体制の再構築	2	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
		障害のある人の社会での活躍を一層進めるための施策検討	4	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
		年長者いこいの家(公共施設マネジメント)	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を变えるのか)が無い。
		北九州市福祉事業団(政策連携団体)	1	● より具体的な分析が必要と思われる。
	C	地域共生社会の実現に向けた新たなつながりづくりの検討	1	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
		障害の有無にかかわらず施策の実施に向けた「包括的」な組織改革	2	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
		介護・医療・福祉人材が育ち、集まるまちづくり	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を变えるのか)が無い。
		食肉センターの老朽化対策と経営の見直しに関する検討	3	◎ 具体的な分析ができています。
子ども家庭局	B	保育現場の負担軽減等	4	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
		放課後児童クラブを移設した児童館の用途廃止の検討	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		青少年施設のリニューアル及び拠点集約化	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
C	多様化する保育ニーズへの対応	4	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。	
環境局	B	魅力があり利用しやすい環境学習施設のあり方の検討	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		市民環境力の醸成に向けたエコライフステージやESD協議会のあり方の検討	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		世界をリードするサステナブルシティの実現に向けた環境施策のアップデート	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		排出事業者の意識改革による事業系ごみの減量・リサイクルの促進	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		持続可能な社会の実現に必要なごみ処理体制のあり方の検討及び周辺自治体との連携について	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		地域コミュニティの視点も踏まえたごみステーションのあり方の検討	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		(公財)北九州国際技術協力協会のあり方の検討	2	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
(公財)北九州市環境整備協会の安定的な体制の維持	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。		

R7各局区X方針のB・Cレベルの点検結果④

凡 例 ◎：順調に進めているもの
●：X方針の課題設定として検討が必要なものの

局区名	課題領域	課題	変革段階	包括点検の結果
産業経済局	B	雇用施策のあり方	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		中央卸売市場の再整備	1	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
		漁港を活用したにぎわいの創出(脇田地区)	3	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
		農業用ため池(農業用としての役割を終えたため池の有効活用)	5	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		北九州学術研究都市と北九州産業学術推進機構の機能強化	5	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		北九州貨物鉄道施設保有(株)	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
	C	株式会社北九州輸入促進センター(キプロ)	4	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
		渡船事業(若戸航路)の経営改善	4	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく課題。
都市ブランド創造局	B	北九州市立商工貿易会館(立地エリアの高度利用の検討)	1	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく課題。
		博物館系施設の付加価値向上	2	◎
		ホール系施設の効果的な運用	3	◎
		政策連携団体の見直し(芸術文化振興財団の体制強化)	1	● より具体的な分析が必要と思われる。
		交流人口の増加による「稼げるまち」の実現	4	◎
		観光コンベンション施設のあり方(ソフト)	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
	C	政策連携団体の見直し(観光コンベンション協会、皿倉山登山鉄道)	4	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		スポーツによる「稼げるまち」の実現	2	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
都市戦略局	B	施設のあり方(ハード)	2	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
		都市機能の更新とまちの魅力向上	2	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
	C	利用者目線による公園の魅力向上	3	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		将来にわたる公共交通の維持・確保	2	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		まちなか居住の推進とまちの魅力向上	2	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		北九州モノレールの安定的な経営基盤の確保	4	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
「到津の森公園」の更なる魅力向上に向けた運営体制の強化	1	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。		

R7各局区X方針のB・Cレベルの点検結果⑤

凡 例 ◎：順調に進めているもの
●：X方針の課題設定として検討が必要なものの

局区名	課題領域	課題	変革段階	包括点検の結果
都市整備局	B	利用者目線による公園の魅力向上	2	● 課題の切り口が限定的になっており、業務改善などAレベルの取組内容ありきの課題設定となっている。 本質的なB・Cレベルの課題の設定ができていない。
		持続可能な住宅セーフティネットの提供	3	◎ 今後は新たな課題の立て方の検討が必要と思われる。
		今後の北九州市住宅供給公社の利活用	3	◎ 具体的な分析ができています。
		道路橋等の効率的・効果的な維持管理	3	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
		雑草対策の構造改革（除草主体から防草への転換）	3	◎ 具体的な分析ができています。
港湾空港局	B	北九州埠頭株式会社による港湾管理に係るサービスの向上	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素（これまでから何を变えるのか）が無い。
		港の稼ぐ力の強化	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素（これまでから何を变えるのか）が無い。
		門司港レトロ地区の未利用地を活用した賑わい空間の創出	3	◎ 具体的な分析ができています。
		北九州エアターミナル株式会社の健全な運営による空港の発展	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素（これまでから何を变えるのか）が無い。
		空港の稼ぐ力の強化	4	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
	C	洋上風力浮体式総合拠点の開発方針の決定	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素（これまでから何を变えるのか）が無い。
		ひびき灘開発の事業のあり方の検討について	1	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素（これまでから何を变えるのか）が無い。
		施設老朽化に対する維持管理対応及び利用転換・民間投資活用	1	● 設定した課題に対し、取組が小さい（局で現状できることのみ書いている）。最適解になっていない。
門司区	B	砂津地区の未利用地等を活用した賑わい空間の創出	1	● 設定した課題に対し、取組が小さい（局で現状できることのみ書いている）。最適解になっていない。
		若者、地域、民間の連携推進による活性化	1	● 本質的なB・Cレベルの課題の設定ができていない。
		地域のブランド力強化に向けた取組み	1	● 本質的なB・Cレベルの課題の設定ができていない。
	C	地域コミュニティの活性化	2	● 本質的なB・Cレベルの課題の設定ができていない。
		今後のまちづくりの長期的な最終目標に向かっていく小目標の設定	1	● より具体的な分析が必要と思われる。
小倉北区	B	地域の实情に応じた地域づくりへのサポート	3	◎ 具体的な分析ができています。
		地域における外国人との共生	3	◎ 具体的な分析ができています。
		小倉北区内の観光資源の掘り起こし・情報発信の強化、並びに区の垣根を超えた周遊観光の促進	5	◎ 小さい成功を生み出している。
	C	小倉北区役所庁舎のあるべき姿の実現に向けたプランづくり	4	◎ 小さい成功を生み出している。

R7各局区X方針のB・Cレベルの点検結果⑥

凡 例 ◎：順調に進めているもの
●：X方針の課題設定として検討が必要なもの

局区名	課題領域	課題	変革段階	包括点検の結果
小倉南区		現役世代・子育て世代のニーズに合わせた柔軟な市民センターの運営（日曜開館の検討等）	2	● より具体的な分析が必要と思われる。
	B	地域特性に応じた新たな持続可能な地域コミュニティの形成	3	● 設定した課題に対し、取組が小さい（局で現状できることのみ書いている）。最適解になっていない。
		地域資源の活用と人材育成	5	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。
	C	区役所の一步先の価値観を体現する「未来型区役所」のデザイン	2	◎ 具体的な分析ができている。
若松区	B	持続可能な「地域ケア研究会」の取組	2	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素（これまでから何を変えるのか）が無い。
	C	若松北海岸の観光地化	2	● 設定した課題に対し、取組が小さい（局で現状できることのみ書いている）。最適解になっていない。
		市民センターの運営の在り方の検討・見直し	2	● 設定した課題に対し、取組が小さい（局で現状できることのみ書いている）。最適解になっていない。
八幡東区	B	新たな地域の担い手を創出	4	◎ 小さい成功を生み出している。
	C	新たな地域の仕組みづくり	2	◎ 具体的な分析ができている。
		市民センターの運営体制のあり方の検討・見直し	2	◎ 具体的な分析ができている。
八幡西区	B	あらゆる「区民のこえ」の可視化	5	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができている。
	C	地域とつながる安心な暮らしづくり	3	● 設定した課題に対し、取組が小さい（局で現状できることのみ書いている）。最適解になっていない。
戸畑区	B	気軽にあつまり交流できる場としての区役所づくり	4	◎ 小さい成功を生み出している。
		「歩いて楽しいウォークアブルなまち」としての回遊性向上と賑いの創出	4	◎ 小さい成功を生み出している。
		戸畑区の賑わいづくりの担い手ネットワーク構築	4	◎ 小さい成功を生み出している。
		まちの魅力の効果的な発信	5	◎ X方針外での取組を検討してはどうか。
	C	中本町地区などにおける土地利用にかかる検討と市街地再開発の気運醸成	1	● 設定した課題に対し、取組が小さい（局で現状できることのみ書いている）。最適解になっていない。

R7各局区X方針のB・Cレベルの点検結果⑦

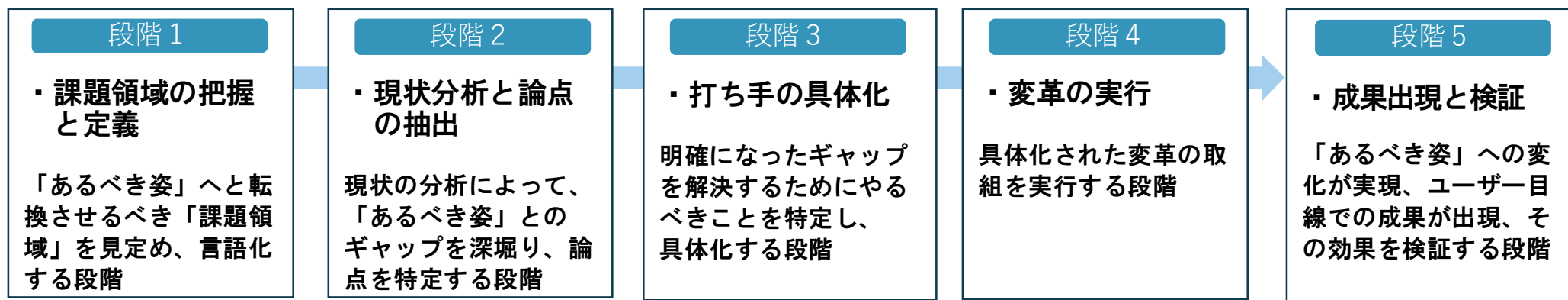
凡 例 ◎：順調に進めているもの
●：X方針の課題設定として検討が必要なものの

局区名	課題領域	課題	変革段階	包括点検の結果
消防局	B	増加を続ける救急需要の対策	5	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
		消防業務のDX推進	5	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
		持続可能な消防体制の確立	2	● 課題の切り口が限定的になっており、業務改善などAレベルの取組内容ありきの課題設定となっている。本質的なB・Cレベルの課題の設定ができていない。
	C	木造建築物が密集する地域に対する火災予防対策	2	● 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状でできることのみ書いている)。最適解になっていない。
		小倉南区内の消防体制の再整備	3	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。
上下水道局	B	株式会社北九州ウォーターサービスとの連携強化	2	◎ 具体的な分析ができています。
	C	将来にわたる上下水道事業の健全経営やサービス水準維持の実現(経営環境の変化への対応)	2	● より具体的な分析が必要と思われる。
交通局	B	持続可能な交通事業の構築	4	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
	C	施設・車両の老朽化対応	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
公営競技局	B	ファンや地域に愛されるレース場づくり	4	◎ 小さい成功を生み出している。
	C	社会的要因等(国の経済の衰退、大規模災害発生時)への対応	4	● 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を变えるのか)が無い。
教育委員会	B	小規模校特別転入学制度の見直し	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		教職員の負担軽減に向けた業務の見直しと環境整備	4	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。
		学校体育館への空調整備に検討	4	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		学びの多様な学校開校による不登校対策の更なる充実	3	◎ X方針外での取組みを検討してはどうか。
		図書館における施設の老朽化・維持管理コストの増大	3	● 設定課題の転換を検討すべきではないか。
	C	新たな時代の教育デザインの構築	3	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
行政委員会事務局	B	将来の市政を担う人材の確保ができる採用試験の見直し	4	◎ 小さい成功を生み出している。
		選挙事務(投票所)の人員配置の見直し(各局区の所属割当てへ変更)	4	◎ 本質的な課題をとらえて、変革の具体化ができています。
	C	若者世代(20代)の投票率の向上	4	● 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。

変革の取組段階による確認結果（全体）

各局区等の課題B・Cレベルの取組状況をより可視化するため、取組の実行状況(R8.3.31時点)について確認し、変革の取組段階(5段階)のうち、どの段階まで達しているか仕分けした。

変革の取組ステップ(5段階)

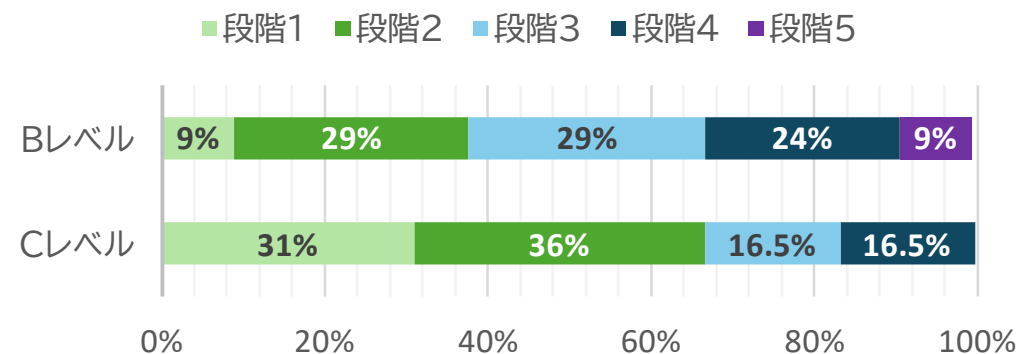


B・Cレベルの課題143件にかかる取組の実行状況を上記の段階1～5で仕分け

<BCレベルの仕分け結果(全体)>

	段階1	段階2	段階3	段階4	段階5	計
Bレベル	9	29	30	24	9	101
Cレベル	13	15	7	7	—	42
計	19	44	37	31	9	143

<B・Cレベルの各段階の割合(全体)>



※R7年12月末時点の仕分け結果と変更なし